

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	ごみ減量化啓蒙啓発事業	4-3
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	市民生活部ごみ対策課	直通電話	72-3126
担当部長	川又 和雄	担当課長	藤岡 修一
		担当者	吉田 恵

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	出前講座、説明会、HP等の情報媒体を利用し、市民に対してごみの減量行動を喚起する。		
(2)事業開始年度	平成13年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	4 豊かな自然を守り育てる	
	施策項目(大)	(3)資源循環型社会の実現	
	施策項目(小)	ごみ発生抑制と排出抑制のしくみづくり	
	施策コード	40301	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	市民のごみ減量に対する意識を高める
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	ごみの減量化
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	市広報誌、町内会回覧、ホームページ等の利用と出前講座などにより、直接市民に対して、説明・啓発を行う。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)				
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	14,674	14,085	6,280	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	14,674	14,085	6,280	
事務に従事した正職員延べ人数	1.70	1.70	0.70	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算	
市補助金等(A)										
計(B)	0	0	0	0	計	0	0	0	0	
(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
広報誌の掲載	目標値	12	12	12	12
	実績値	12	12	12	
	達成率	100.0	100.0	100.0	
説明会・出前講座の回数	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	37	125	8	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
家庭ごみ排出量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	16,096	15,547	10,071	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	1	イ 成果
その事業に市が関与する必要があるかどうか			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない
(2) 効率性			ウ 事業内容
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い
コスト削減は可能か			
(3) 公平性			(1)~(4)の評価ポイント合計
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	1	総合評価の参考にしてください。
さらなる受益者負担は可能か			7~11 A or B 12~15 B or C 16~21 D or E
			12

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		<p>B 評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)</p> <p>平成18年度後期から実施しているごみの有料化による影響が大きいものと思われるが、平成19年度実績ではごみの排出量が激減している。</p>	
(2) 今後の方向性・課題		<p>ごみの減量には、市民一人ひとりの、協力が不可欠であり、さらなるごみの減量には、広報誌、HP、出前講座等による啓蒙・啓発活動が必要であり引き続き実施していく。</p>	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		<p>C 評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)</p> <p>ごみの減量化は、有料化による影響が大きい。</p>	
(2) 今後の方向性・課題		<p>第2期ごみ減量化計画における「ごみの発生抑制、ごみの排出抑制」等を推進することが重要。</p>	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)		事業内容	
		現状維持	一部見直し 大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		啓発活動の内容の見直しを図る。	